

農政課 23-3517

農政課 ☎23-3517

農政課 23-3517

農政課 23-3517

田原市の農産物を世界へ

近年、健康的なイメージや見た目の美しさなどから日本食が世界的なブームになっており、国は農林水産物・食品の輸出を促進しています。

本市もJ-A愛知みなみや他の自治体と連携し、人口増加や経済成長の著しいアジア地域を中心に農産物の輸出に取り組んでいます。

ここでは、今年度の海外への農産物輸出に関する取り組みを紹介します。

●他の自治体と連携する目的

通年で旬の食材を提供でき、安定した輸出ルートの確保ができます。また、輸出コストの削減にもつながります。

●豊橋市と連携した農産物輸出

豊橋市と連携して香港、タイへの農産物の輸出をしています。香港へは、昨年に引き続き本市のメロンを輸出しPRを行いました。タイへは、今後キャベツ

の輸出をする準備をしています。

昨年度はキャベツ、ブロッコリー、イチゴ、今年度はメロンの紹介動画を制作しました。この動画はサンテパルクたはらの産直市場で不定期で放映しています。



●田原市産のメロン等が並ぶマレーシアのマーケット

●三遠南信地域との連携

豊橋市、静岡県浜松市、長野県飯田市と連携した農産物輸出にも取り組んでいます。

この取り組みは平成29年度から続いており、各市自慢の農産物をマレーシアへ輸出しています。

●コロナ過での取り組み

全世界を巻き込んでいる新型コロナウイルス感染症により、農産物輸出も影響を受けています。

主に、輸出する船便数の減少や税関通過までの期間の増加が原因で、現地小売店での販売金額が高沸し、消費者へも影響が出ています。

今後は、輸出コストの軽減と鮮度維持の取り組みを行っていきま

●これから

国は、農林水産物および食品の輸出額を令和12年までに5兆円に到達させるという経済戦略目標を掲げています。

今後、国内の人口減少により国内市場縮小が見込まれる中で、人口増加や経済成長が見込まれる海外への販路を拡大する取り組みは本市として極めて重要です。

農産物の輸出に継続して取り組むことにより、本市産農産物の認知度の向上を図り、安定した販路の形成を目指し、本市産農産物の海外への販路拡大に向けた取り組みを継続して行っていきます。

今月の花

10月の

渥美半島の花と鉢花

バラ

(花/出荷時期:通年)

花ことば

美・愛情

世界中で愛される花の女王。美しい花と香りが魅力的です。出荷量は県内3位で約590万本出荷されています。



サンセベリア

(鉢花/出荷時期:通年)

鉢

花ことば

永久・不滅

縞模様の葉が特徴的な観葉植物。丈夫で育てやすく、インテリアとして人気です。本市では年間約2万鉢出荷されます。

